



かまくら好日
 「フェイントの切返しです！」
 撮影者：飯塚直美

2月定例会開催 2月13日～3月25日 平成20年度「健やかな未来・はぐくみ予算」を可決

- ### 2月定例会の主な動き
- 一般質問が行われる ……2面
 - 平成19年度補正予算を審議 ……2面
 - 平成20年度予算を審議 ……3面
 - 条例制定・改正議案等を審議 ……6面
 - 議会全員協議会が開催される ……6面

6月定例会は6月11日(水)に開会予定です

写真を募集しています！

「かまくら議会だより」の1面に掲載する写真を募集しています！

応募資格：市内在住、在勤問わず、どなたでも応募できます。(ただし個人に限ります)

メインテーマ：「かまくら好日」

応募方法などについては、議会事務局議事調査担当までお問い合わせください。
 電話 0467(23)3000 内線 2448

主な議案の議決結果

議案	議決結果	会派名						無所属
		民主	共産	ネット	同志	公明	自民	
鎌倉市斜面地等の建築物の構造の制限に関する条例の制定について	可決	○	○	○	○	○	○	○
平成19年度鎌倉市一般会計補正予算(第4号)	可決	※1 ●	○	○	○	○	●	○
平成20年度鎌倉市一般会計予算	可決	※2 ●	●	○	○	○	※2	○
鎌倉市後期高齢者医療に関する条例の制定について	可決	○	●	○	○	○	○	○
鎌倉市スポーツ施設建設基金条例の制定について	可決	○	○	△	○	○	○	○

《各会派の所属議員は次のとおりです》(○印は代表者)

民主(民主党鎌倉市議会議員団) : ○早稲田夕季、山田直人、岡田和則、中村聡一郎、渡邊隆、久坂くにえ

共産(日本共産党鎌倉市議会議員団) : ○吉岡和江、赤松正博、小田嶋敏浩、高野洋一

ネット(神奈川ネットワーク運動・鎌倉) : ○森川千鶴、三輪裕美子、石川寿美、萩原栄枝

同志(鎌倉同志会) : ○野村修平、伊東正博、助川邦男、前川綾子

公明(公明党鎌倉市議会議員団) : ○大石和久、藤田紀子、納所輝次

自民(自由民主倶楽部) : ○本田達也、高橋浩司

無所属 : 千一、松中健治、原桂

【会派とは】議会内で基本的に同じ政策(市政に対する考え方、意見など)を持つ議員の集団をいいます。本市議会では、代表質問を行ったり議会運営委員会の委員となる、いわゆる議会運営上の交渉会派は所属議員2人以上としています。

一般質問

2月定例会では2名の議員が一般質問を行いました。一般質問は、現在市が抱えている重要な課題について市長などにたずぬるので、下の表のとおり質問を行いました。ここではその一部を掲載しました。

※本紙では、今議会で行われた質疑応答を、広報委員会が抜粋し、事項別に整理し掲載しています。個々の議員の発言等、詳しくは5月中旬作成予定の本会議録を図書館やインターネットでご覧ください。インターネットを利用する場合は「かまくらGreenNet」から鎌倉市議会ホームページを開き、会議録検索システムをクリックしてください。また鎌倉市議会ホームページの本会議中継システムから、録画映像も見られますのでご利用ください。

千	一	……	「年末年始の社協の介護事業に対するヘルパーの体制について」「社協の土日の窓口体制について」「バイオリサイクルセンターについて」「市内の身体障害者の施設について」「介護保険で困られている方について」
原	桂	……	「行財政改革について」「環境対策について」「教育諸問題について」

社会福祉協議会の運営について

今定例会では、社会福祉協議会（※文末参照）の運営について、次のような質問が行われました。

【土日の窓口体制について】
質問：福祉まつりのときは、日曜日でも職員が全員出勤して、それ以外は行事があるときのみ出勤している。

土日のような児童・生徒、学生、一般の社会人が休みのおきにこそ、その方達の活動において役に立つべきだと思ふ。社会福祉協議会の仕事は、たくさんあるのだから、その部分の人だけでもいてほしい。

横浜市旭区の社会福祉協

議会は、土日の窓口を二人、三人の体制にしている。鎌倉市の社会福祉協議会もそのように、土日は全く窓口を閉めてしまおうのではなく、何か聞きに来た利用者に対して対応できるくらいの体制はとってほしい。

部長：社会福祉協議会の役割としては、地域福祉の事業と、介護事業と二つの事業があり、もともとある地域福祉を推進するための事業は大変重要になっている。

社会福祉協議会が入っている福祉センター自体は、土日も開いている。そのため会議室や活動室の利用は



鎌倉市社会福祉協議会の窓口

各都道府県や各市町村に設置されており、全国的な取り組みから地域の特性に応じた活動まで、さまざまな場面で地域福祉増進に取り組んでいる。

平成19年度補正予算を審議

今定例会に平成19年度一般会計及び六特別会計の補正予算案が提出されました。

◆一般会計

補正の内容は歳入歳出いずれも六億一千六百八十万円を追加するもので、補正後の総額は五百六十億五千五百三十三万円となります。

議会では、特に第二十款衛生費における（仮称）バイオ・リサイクルセンターの用地取得に係る公有財産購入費の追加について、公有地の買収に

関し、マニュアルを作成してほしいとの意見及び公有地の買収については、市有財産評価審査会の答申を最大限尊重し、最大限の努力をしていくとの市長の発言があったこと

をふまえた上で、候補地選定までの経過、用地取得に向けた現状や今後の取り組みなどについて担当原局から説明を聴取するとともに、副市長の見解をただすなど審議した結果、この公有財産購入費につ

いては、現段階において補正に入れられる状態ではないことから反対であるとの意見がありました。多数の賛成により原案を可決しました。

◆特別会計
六特別会計補正予算案を総員の賛成により原案を可決しました。

◆下水道事業
九十五億一千九十万円

◆大船駅東口市街地再開発事業
二億七千二百八十万円

◆国民健康保険事業
百六十七億一千七百万円

◆老人保健医療事業
百六十五億四千五百四十万円

◆公共用地先行取得事業
歳入科目相互の金額を補正。総額は補正前と同額

六億七千六十万円

◆介護保険事業
百五億四千六百三十万円

かまくら議会だより 音声版・点訳版のご案内

鎌倉朗読・録音奉仕会と鎌倉市点訳赤十字奉仕団のご協力により、議会だよりの音声版（収録テープ）と点訳版を作成しています。ご利用希望の方は、お申し出ください。

お問い合わせ先
〒248-8686
鎌倉市御成町18番10号
議会事務局議事調査担当
電話：0467(23)3000 内線2448
FAX：0467(23)5825



議会傍聴のご案内

本会議をはじめ、各委員会は公開されており、誰でも傍聴することができます。

本会議の傍聴

本会議当日に、市役所議会棟入口にある守衛室までおいでください。先着順に傍聴券を交付します。

常任委員会・特別委員会等の傍聴

委員会当日に、本庁舎2階の議会事務局で申し込みをください。なお、席に限りがありますので先着順になります。当日の審査内容や審査する順番は委員会の冒頭で確認された後、議会事務局前に掲示されます。

※詳しくは議会事務局まで、電話でお問い合わせください。
電話：0467(23)3000 内線2448

陳情の審査結果

◆野村団地南側斜面／深沢中学校周辺地域の緑の回廊の回復と保全を求めるとのことについて
陳情の要旨は、野村団地南側斜面、深沢中学校周辺地域の緑の回廊をつくっている畑の小道の自然を守り、周辺の斜面緑地の保全及び生活道路、通学路の安全確保を求めるといふものです。

市からの説明によれば、この斜面緑地は、緑の基本計画における特別緑地保全地区などに該当していないため、保全の措置をとることができないが、開発事業において宅地内の緑化等が行われるとともに、開発事業区域外の陳情で述べられている道路と事業区域に挟まれた事業者所有の土地は、道路保護地として無償で公有地化する方向で事業

正・副委員長の辞任・選任

【觀光厚生常任委員会】
二月二十一日

吉岡和江委員長が辞任。

森川千鶴委員長及び本田達也副委員長を選任。

二月二十二日

森川千鶴委員長が辞任。

二月二十八日

本田達也委員長及び藤田紀子副委員長を選任。

三月二十五日

【議会運営委員会】
本田達也副委員長が辞任。

平成20年度予算を審議

一般会計予算は 予算特別委員会では否決、本会議では可決

二月二十八日の本会議において、平成二十年度の市政運営に対する市長の所信と施策概要の説明が行われ、「健やかな未来・はぐくみ予算」と名付けられた平成二十年度予算案が提出されました。

提出された議案は、一般会計予算など十二議案で、その予算規模は、一般会計は、前年度と比較して一・七%の増となる五百五十八億八千三百万円（鎌倉みどり債の借り換え十五億円を除くと前年度対比一・〇%減）、特別会計は、

高齢者医療事業特別会計予算が新たに三十九億二千二百十万円増えた一方で、これまでの老人保健医療事業特別会計予算が、前年度より百三十四億六千七百九十九万円減額したことなどによるものです。



予算特別委員会審査風景

対比六・八%減でした。

予算特別委員会の設置

三月四日・五日の本会議において、平成二十年度予算等に対する各会派からの代表質問が行われた後、委員十名からなる平成二十年度鎌倉市一般会計予算等審査特別委員会（以下「予算特別委員会」という）を設置し、平成二十年度鎌倉市一般会計予算など十二議案の審査を付託しました。

予算審査の着目点

予算特別委員会では、総務常任委員会から送付された、武田薬品が計画しているP3施設建設について情報公開を求め、また今後、市として、情報収集を行うなど適切な対応を図ること、との意見を踏まえた上で、付託された予算議案等について、限られた財源の中で第三次総合計画第二期基本計画前期実施計画

画に位置づけられた諸事業を初め、市民生活に密着した事業や重点的かつ政策的な課題・施策が、どのように予算に盛り込まれているか、その優先度や緊急度などの点に着目し審査しました。

担当原局・理事者への質疑

予算特別委員会では、三月十日から十四日まで、担当原局に対する質疑を通じ、今後取り組むべき諸課題について、その対応の方策や方向性を検証しました。

また、十七日には、重要な施策について、理事者質疑を行い、その見解をたずねました。

【一般会計予算】

◆衛生費
◇武田薬品の研究所について
◆土木費

予算特別委員会委員

委員長	久坂くにえ (民主党鎌倉市議会議員団)
副委員長	助川 邦男 (鎌倉同志会)
委員	早稲田夕季 (民主党鎌倉市議会議員団)
"	石川 寿美 (神奈川ネットワーク運動・鎌倉)
"	本田 達也 (自由民主倶楽部)
"	大石 和久 (公明党鎌倉市議会議員団)
"	小田嶋敏浩 (日本共産党鎌倉市議会議員団)
"	高野 洋一 (日本共産党鎌倉市議会議員団)
"	伊東 正博 (鎌倉同志会)
"	森川 千鶴 (神奈川ネットワーク運動・鎌倉)

◇大船観音前マンションについて
◇市道〇五三一一〇一号線の階段復旧工事について
◇市道〇五三一一〇一号線の保護地だった市有地二六〇一二の区域変更について

◆教育費

◇学習状況調査について
◇職員の不祥事による保育料未収の再発防止について

【下水道事業特別会計予算】

◇市街化調整区域における公共下水道のあり方について

予算特別委員会での採決

予算特別委員会では、三月十七日、付託を受けている平成二十年度鎌倉市一般会計予算など十二議案を採決しました。

その結果、一般会計予算案は、少数の賛成により否決、下水道事業特別会計予算を初めとする七特別会計予算については原案のとおり可決、その他四件の条例改正議案についても原案のとおり可決すべきものと決しました。



平成20年度鎌倉市一般会計予算 本会議採決風景

本会議において予算特別委員長から審査結果を報告

三月二十五日の本会議において、予算特別委員長から、委員会における審査結果を報告するとともに、理事者に対して、委員会審査の過程において、各委員から出された意見や要望に留意して、今後の市政運営に努力してもらいたい旨の発言がありました。

本会議において議決

委員長報告の後、共産党鎌倉市議会議員団、鎌倉同志会、神奈川ネットワーク運動・鎌倉、公明党鎌倉市議会議員団の各会派から、討論として議案に対する賛否の意見が表明されました。

その後、採決を行い、一般会計予算、下水道事業特別会計予算、国民健康保険事業特別会計予算、後期高齢者医療事業特別会計予算及び鎌倉市

スポーツ施設条例の一部改正議案を多数の賛成により可決

大船駅東口市街地再開発事業特別会計予算、老人保健医療事業特別会計予算、公共用地先行取得事業特別会計予算、介護保険事業特別会計予算及び鎌倉市心身障害者の医療費の助成に関する条例、鎌倉市保育所設置条例、鎌倉市青少年会館の設置及び管理に関する条例の一部改正議案を総員の賛成により可決しました。

なお、予算案の議決後、市長から、多彩な市民力を結集し、地域資源の活用と市民自治の推進を図ることにより、鎌倉の地域力と地域価値の向上をめざしたいと考えており、平成二十年度においても、鎌倉の将来を見据えた、だれでもが安全で安心して生活でき、子供が元気に育つ、活力ある町の実現をめざし、全力を尽くしたいとの発言がありました。



市議会議員の紹介の他、議会の流れ、傍聴方法、議会の日程などをお知らせしています。

市議会ホームページ

本会議中継システムでは、本会議の生中継及び録画中継の映像が、ご覧いただけます。



会議録検索システムでは、本会議や委員会の会議録が、ご覧いただけます。

新年度予算に対する評価と見解

日本共産党

共産党市議団は、行財政改革のあり方や鎌倉のまちづくりに関わる開発行政の問題などから一般会計予算など五議案に反対し、その他の議案については賛成しました。

【市政運営の基本姿勢】

依然として国民健康保険料の滞納者や就学援助の受給者などは増加傾向にあり、市民生活は全体として厳しい状況にあるといえます。また、原油価格の急騰や食料品の値上げ、後期高齢者医療制度の実施等により、生活に更なる影響を及ぼすことは必至です。

こうした中で、市政運営においては、市民生活に配慮し、極力、負担の抑制に努め、暮らしを応援する立場で行うことが大切です。

具体的には、国民健康保険料の抑制・軽減、介護保険における負担軽減、障害者施策における利用料軽減や施設運営への助成、後期高齢者医療の保険料に対する軽減など、市民生活を守る立場で、施策を積極的に実施していくよう市長に強く求めました。

【行財政改革のあり方】

予算を見ると、子育て支援など個別の施策では積極的な内容も含まれていますが、行財政改革の在り方については見直す必要があります。

職員数適正化計画により職員数が減る一方、市民対応が必要な福祉や子ども部局などで厳しい体制となっている実態があり、市民サービスとの関わりから軽視できません。もちろん、無駄を是正する

ことは当然で、事務の改善など積極的な取り組みが必要です。

同時に、人員配置については多くの団塊の世代の職員が退職する中、職場の実態を踏まえ、必要であれば増員も含めて適切に行う必要があることを指摘しました。

【開発行政の問題について】

岡本マンション開発問題については、市道の復旧工事などの課題がある中、いまだ工事のめどが立っておらず、問題解決に取り組む市の姿勢が厳しく問われています。隣接地権者の土地を使わずとも可能な工法など積極的な打開策を示す必要があります。

いま、世界遺産登録に向け、高度地区や景観地区の指定など、鎌倉のまちづくりに取り組む中、岡本マンション開発問題における一連の未解決課題は、市長の政治姿勢が問われるものであることから、新年度の早期に見直しを付けるよう強く要求しました。

【深沢地域のまちづくり】

今、深沢国鉄跡地を中心とした深沢のまちづくり計画に関連して、隣接する村岡地区（藤沢市）に新駅を誘致する問題が急浮上しています。

新駅設置となれば鎌倉市にも多額の財政負担が生じる恐れがあり、市民への周知と慎重な検討が必要です。

何よりも「深沢地域の新しいまちづくり基本計画」が、新駅設置によって、市民要求に基づく計画から遠ざかってしまうことのないよう市長に強く要求するものです。

新年度予算に対する評価と見解

ネットワーク鎌倉

相次ぐ職員不祥事やごみ処理施設、開発問題など未解決の課題が多く、環境や福祉政策の遅れなどを指摘し、ネットワーク鎌倉は、二〇〇八年度予算に反対しました。

【不祥事再発防止対策】

昨年から世界遺産登録公文書偽造や保育料の不正請求、学歴詐称など職員の不祥事が相次いでいます。

市民の信頼を著しく失墜してしまい、職員の意識改革が求められています。

コンプライアンス体制を整え、定期的な点検と見直しを行う委員会組織等の設置や公益通報者保護制度を条例化するよう提案しました。

【地球温暖化防止には交通対策が必須】

二酸化炭素削減には、公共交通網の利便性を高め、マイカーを減らすことが必要です。観光客が利用するパークアンドライドは、すべてが海岸沿いであり、渋滞解消には不十分です。朝比奈インター等の降口や大船駅、深沢地域にも設置すべきです。

さらに中心市街地に公共交通以外の自動車の乗り入れを制限するランジットモーターを鎌倉駅周辺に導入するよう求めました。

【ごみ問題について】

今泉・名越の焼却炉は老朽化のため、二〇一三年、二〇一四年までの使用とされておき、焼却ごみ削減のためには、生ごみ資源化施設建設が必要と見られます。

しかし、急遽候補地を関谷

に変更したため、地元住民からは理解が得られていません。そこで、誠意ある対応と最大限の努力を求めました。

【子育て支援】

病後児保育は、ニーズの高い自宅への派遣型を制度化するよう要望しました。

また、青少年支援として居場所づくりや音楽・演劇活動ができるスタジオの設置を要望しました。

【高齢者福祉の充実を】

待機者が増加している特別養護老人ホームの増設を求めました。また、利用率の高いショートステイは、緊急時に対応ができず、更なる充実が必要と見られます。

認知症のデイサービスについては、六カ所の計画予定が、一カ所しかなく、早期に対応を図るよう求めました。

【武田薬品新研究所の安全性について】

新研究所には危険度の高い病原体の遺伝子操作が可能など含まれており、これらに関する情報提供はほとんどされていません。

予防原則にのっとり、市民の健康と安全を守るために情報収集をするよう要望しました。

新年度予算に対する評価と見解

自由民主倶楽部

地方自治体にとって最も重要な役割は、環境対策であり、以前は公衆衛生に力点を置き行っておりましたが、近年は、再資源化が、主流になりつつあります。しかし、幾ら再資源化してもごみゼロにするのは難しく焼却処理する施設は、どうしても必要と見られます。

鎌倉市は、今泉と名越に焼却施設を保有しておりますが共に老朽化が進み、大規模改修を要する時期を迎えております。前市長当時、ごみ半減を実現し、名越一カ所の改修で全市の焼却処理を賄おうと計画がとん挫し、恥ずかしな

がら他市の助けを請うことになりました。おかげ様でイタリアのナポリのように町中にごみが散乱することなく第一回目のごみ処理危機を乗り切ったのであります。その後、様々な環境が変化し、再資源化等減量化に努めながら、コストメリットと環境負荷を考慮して複数の自治体が共に広域処理を行うよう国の方針転換が図られ、補助金の在り方も基本的に広域施設以外には交付しないよう変わりました。

そこで、当市は横須賀、三浦、逗子、葉山の四市一町による広域処理グループに入り、広域処理の在り方を検討してきたのですが、山北町で広域焼却処理を行うエコループ構想が発表されるや逗子市と共

に浮気をしてしまい、エコループ構想がとん挫した後に再び

四市一町の枠組みでお願いしたいと申し入れを行ったのですが、時既に遅し、浮気した二市でやって下さいということになってしまいました。第二のごみ処理危機の始まりであります。

【ごみ問題を問う】

その後、逗子市との協議を始め、焼却ごみ施設は逗子で、生ごみ資源化施設は鎌倉でとの覚書を交わしたもののスケールメリットを計算した結果、逗子市は生ごみの広域処理に参

加しないと一方的に宣言されてしまいました。鎌倉市のごみ処理の在り方については、逗子市との広域処理を行うこと以外検討されておりません。

ありとあらゆる可能性を緊急かつ速やかに検討するべきであります。一回目の危機の際、助けていただいた川崎市に列車で運ぶのも有効な手段でありますし、お隣には、日本の政令市横浜もあります。世界の歴史史跡保全を鎌倉が担当する代わりに、廃棄物を他市

でお願いできないか、県にも仲介の労を取って頂けるようお願いして頂きたいと思っております。

最後に関谷に計画中の生ごみ処理施設の件に触れておきますが、「予算は政策の鏡」といわれます。補正予算で用地買収を行い、補正予算で建設費を上するといった異常なやり方をせず、正々堂々と用地買収費と施設建設費を本予算に計上し、議論できる環境を確保すべきであります。第二のごみ処理危機を乗り越えるべく、今こそ全市を挙げて英知を結集し、共に頑張りようではありませんか。

に頑張りようではありませんか。

新年度予算に対する評価と見解 鎌倉同志会

鎌倉同志会は、平成二十年度一般会計予算ほか諸議案について、すべて賛成いたしました。

アメリカ経済の減速・原油価格の高騰・素材価格の上昇・株、為替などの金融市場の混乱など、不安材料を抱える日本経済と同様に、地方自治体も厳しい財政状況にあります。

この限られた財源の中、長い歴史のある鎌倉を安定した財政基盤の下、次の世代に引き継ぐ責務を果たさなければならぬという市長の決意を高く評価し、その実現のためには、更なる行財政改革の推進・地球温暖化対策の早期目標達成・世界遺産登録などに積極的に取り組むよう要望いたしました。

【行財政改革の推進】
厳しい財政状況において、喫緊の課題は財源の確保であり、収入確保対策プロジェクトによる目標達成の見通しには困難性があります。したがって給与の引き下げに伴い給与体系の見直しを、職員数減員では非常勤職員とアルバイトとのバランスの取れた体制を、ごみ収集の委託化の早期実施などを求めました。

【地球温暖化対策】
市の推進計画では、平成二十二年まで、二十一・九%の削減目標を掲げています。その目標達成のために「家庭で出来る取り組み十項目」を提案して市民の方々に理解と協力を求めています。温暖化防止に役に立つことはなにかと考えている市民に対し、

日々の努力が目標達成にどれほど貢献しているかなど、具体的に広報等での周知を確約していただきました。

【世界遺産登録に向けて】
県から出向の職員による不祥事で、先行き不透明感がありましたが手続は順調とのことで、「武家の古都・鎌倉」の世界遺産登録を平成二十二年度実現のため、全力で臨むよう求めました。

【発達障害児者への支援】
三歳児健診までには、発見されにくい発達障害の概念が市民に理解されていない状況にあります。そのため啓発活動と福祉及び教育の連携体制の整備を求めました。

【高齢者専用賃貸住宅】
市内には存在しないこの住宅は、首都圏を中心に急増しています。安価な家賃に加え、医師・常駐看護師による健康相談が受けられ、高齢者にとって快適な施設であります。市内に存在しない理由は何か、また高齢者（一人暮らし）が安心感を得られる対策の検討を求めました。

【商店街の活性化】
シャッター通りとも言われる商店街の活性化は、全国の自治体でも喫緊の課題であり、その解決のために商工会議所並びに商店街連合会との定期的な話し合いの場を持つことに理解をいただき、また行政の役割として、店舗等の新築の際、固定資産税を一定程度減免するなどの検討を求めました。

新年度予算に対する評価と見解 民主党

民主党

民主党鎌倉市議会議員団は、平成二十年度一般会計予算については意見が分かれ、その他七予算議案については賛成しました。反対の立場では、大船観音前マンション問題に象徴される執行体制の不備、市民の声に耳を傾ける真摯な協働体制の欠如など、市政運営の姿勢に根本的問題があると指摘しました。

一方、以下の指摘はあるものの、賛成の立場では産院開設支援 介護老人保健施設の整備、また学校施設の耐震補強など市民生活に必須の、推進すべき多くの事業が盛り込まれていると判断しました。

【職員の不祥事の再発防止】
不適切な事務処理等、相次ぐ職員の不祥事は、モラルの低下、職場環境の諸問題を浮き彫りにしました。職員の意識改革はもとより、業務のチェックシステムの強化、適正な人材配置、コミュニケーションの活性化等、早急な体制作りが求められます。

【二み処理行政】
農業者や周辺住民らが反対姿勢を強めていることや、既存宅地の基準による買収価格算定に異論があることから、関谷の（仮称）バイオ・リサイクルセンターの建設用地取得については、二月の補正予算で反対を表明しました。今後は強引に施設建設を推

し進めることなく、合意形成を図るとともに地産地消政策を進め、農業の経営安定化策を打ち出すなどの努力が不可欠です。

【特色ある地域医療の支援】
市は平成二十年度に産院の開設を計画しており、それに伴う助産師の復職支援、また、高齢化社会に対応するために、医師会等と連携した地域医療や在宅医療、緩和医療の充実を提案しました。

【総合グラウンドの建設計画】
長年の市民要望であった総合グラウンド建設計画を進めるために、有識者と市民による検討委員会の設置が急務です。今議会でのスポーツ施設建設基金条例制定を受けて、深沢地区等への用地確保の検討、優秀な指導者の育成に関する支援体制を要望しました。

【大船観音前マンション開発問題】
平成十九年二月に、大船観音前マンション計画の違法な許可の下に取り壊された市道〇五三一一〇一号線の現状回復に係る補正予算を計上し、十月末までに竣工することが決定されていたにもかかわらず、いまだ予算執行されず住民の不安は限界に達しています。

【福祉】
低年齢児保育の拡充や病後児保育の実施、妊婦健診の公費負担の拡大、産科診療所の開設支援など、鎌倉で安心して子供を産み育てることが出来るた

新年度予算に対する評価と見解 公明党

公明党

公明党は平成二十年度一般会計予算ほか諸議案について賛成しました。

日本の経済情勢も円高や原油価格高騰などの影響が雇用や消費等に及びつつあり、市民生活への影響が懸念されています。その不安を払拭し活力ある地域を築いていくために行政の果たすべき責任は更に重くなつていくと考えます。

【財政】
平成二十年度の一般会計予算は五五八億八千三百万円で、昨年度と比べ約九・四億円、一・七%の増加となつていますが、これには平成十五年度に借りた鎌倉みどり債の借り換え分が含まれており、実質約五・六億円、一%の減少となつています。

特に市税が六・七億円、一・八%の減収と、依然として、厳しい財政状況下にあります。このような状況の中にあつても、平成二十年度予算は市民の要望に応えようと努力したもので、市民が要望する諸施策を効果的に盛り込んだ予算であると評価します。

【安全・安心】
七里が浜地区の消防出張所用地の確保、J-アラートの導入など市民の安全確保のための施策の実施が図られています。

【文化推進】
明日のまちづくりを意識した川喜多記念館の建設や世界遺産登録を視野に入れた永福寺跡の整備が図られています。

【教育】
小学校一・二年生において少人数学級が拡充されること、学校施設の耐震補強工事の実施など、学校教育環境の向上が図られています。

【都市基盤整備】
七里ヶ浜駅のバリアフリー化の実施、大船駅西口のペDESTリアンデッキや腰越漁港の整備、小町通りの電線類の地中化などの都市基盤整備が図られています。

めの施策が盛り込まれており、また介護老人ホームやケアホームの整備といった高齢者福祉の充実も図られています。

【都市基盤整備】
七里ヶ浜駅のバリアフリー化の実施、大船駅西口のペDESTリアンデッキや腰越漁港の整備、小町通りの電線類の地中化などの都市基盤整備が図られています。

【教育】
小学校一・二年生において少人数学級が拡充されること、学校施設の耐震補強工事の実施など、学校教育環境の向上が図られています。

【文化推進】
明日のまちづくりを意識した川喜多記念館の建設や世界遺産登録を視野に入れた永福寺跡の整備が図られています。

【安全・安心】
七里が浜地区の消防出張所用地の確保、J-アラートの導入など市民の安全確保のための施策の実施が図られています。

【その他】
団塊世代の大量退職後に当たる平成二十年度は、残る職員一人ひとりがその知識と技術を受け継ぎ、全力で市民に奉仕していくことで市民の信頼を勝ち取っていかねばなりません。

公明党は平成二十年度予算が鎌倉市の今後の発展と市民生活に大きく寄与するものであるが、一方で不適切な事務処理等があつてはならないとの意見を付して賛成しました。

また市長には力強いリーダーシップをもって対応をすることを強く要望しました。

議決された条例関係議案

今定例会では、市長から十七件の条例関係議案が提出されました。主な議案の内容は次のとおりです。

【条例の一部改正議案】

鎌倉市保育所設置条例

保育所待機児童の解消を図るため、市立深沢保育園の定員を八十人から百人に、市立腰越保育園の定員を七十五人から九十人にそれぞれ増員するなどしようとするものです。

なお、腰越保育園については、現在、四カ月児からとしている低年齢児保育の受け入れを、二カ月児からに拡大します。

議会では総員の賛成により原案を可決しました。(平成二十年四月一日施行)



深沢保育園が入っている深沢こどもセンター

鎌倉市スポーツ施設条例

スポーツ施設のうち鎌倉体育館、大船体育館及び鎌倉武道館の駐車場の使用を有料化するため、駐車場の開場時間、使用料及び使用料の減免などについて規定の整備を行うもので、一台当たりの使用料は、使用開始から三十分以内の場合は無料、最初の三十分を超え、三時間までは二百円、以

降一時間ごとに百円とするものです。

議会では多数の賛成により原案を可決しました。(平成二十年七月一日施行)

鎌倉市青少年会館の設置及び管理に関する条例

条例の題名を鎌倉市青少年会館条例に改め、青少年会館の施設の使用を有料化するとともに、現在休館日である月曜日を閉館するため、規定の整備を行うものです。使用料については、鎌倉・玉縄青少年会館それぞれ部屋ごとの面積に依り、一時間当たり百円から六百円とし、公益事業や青少年活動を行う場合等は、使用料を減免することができるようにするものです。

議会では総員の賛成により原案を可決しました。(平成二十年十月一日施行)

【条例の制定議案】

鎌倉市常勤特別職員の給与に関する条例の臨時特例に関する条例

職員による公文書偽造や不適切な事務処理があったことで、市政への信頼を損ねた責任を明らかにするため、特例として市長及び副市長の給料を減額しようとするものです。市長については、新たに給料の十%を減額し、現在行っている十%の減額の特例措置と合わせ二十%の減額を、副市長については、新たに給料の十%を減額し、現在行っている七%の減額の特例措置と合わせ十七%の減額を、それぞれ一月間行うものです。

議会では、市民が一番望んでいるのは不祥事が起こらないための今後の取り組みであり、給料を減額すれば責任が軽減されるわけではないとの意見がありましたが、採決の結果、総員の賛成により原案を可決しました。(平成二十年三月一日施行)

鎌倉市斜面地等の建築物の構造の制限に関する条例

本市では、斜面地等の建築物に対する制限として、鎌倉市住宅地下室の容積率緩和の制限に関する条例を、平成十九年七月一日から施行していますが、斜面地における建築物の規模を抑えることはできません。高さを制限することができないことから、新たに建築基準法に基づく斜面地建築物の高さ算定の基準となる地盤面を制限し、建築物に関する各制限を複合的に適用することで、周囲の環境との調和を図ろうとするものです。

議会では総員の賛成により原案を可決しました。(平成二十年九月一日施行)

鎌倉市後期高齢者医療に関する条例

これまでの老人保健制度にかわる新しい高齢者の医療制度として、後期高齢者医療制度が開始されることに伴い、本市において行う事務のほか、普通徴収に係る保険料の納期等を規定しようとするものです。

議会では、年齢で差別する後期高齢者医療制度そのものが問題であり見直すべきであるという意見や、社会の変化の中で後期高齢者医療制度導入はやむを得ないものであるが、今後体制を整え、制度の円滑な推進に努めるとともに、経過を見ながら課題への具体的な対応策を検討してほしいという意見がありましたが、採決の結果、多数の賛成により原案を可決しました。(平成二十年四月一日施行)

鎌倉市スポーツ施設建設基金条例

市民やスポーツ団体からのスポーツ施設充実に関する要望にこたえ、総合体育館やグラウンド等のスポーツ施設建設の財源に充てるための基金を設置しようとするものです。

議会では、平成十九年六月定例会において、総合体育施設の整備を求めることについての陳情を総員の賛成で採択していることを踏まえ審議した結果、多数の賛成により原案を可決しました。(平成二十年四月一日施行)

不動産の取得

深沢地域の新しいまちづくり用地など取得

今定例会に、不動産を取得するための議案が三件提出されました。

このうち、鎌倉広町緑地及び鎌倉中央公園拡大区域(台

峰)用地の取得については、ともに鎌倉市土地開発公社が代行取得していた用地を取得しようとするもので、鎌倉広町緑地の土地の所在は、鎌倉市腰越字室ヶ谷八百二十二番ほか四筆、地目は山林、田及び畑、面積は一万五千九百六十九平方メートル、取得価格は四億九千三百八十八万八千五百円、鎌倉中央公園拡大区

本市は、平成十八年四月、逗子市とごみ処理の広域化についての覚書を締結し、平成十六年三月に作成された「横須賀三浦ブロックごみ処理広域化基本構想(素案)中間報告」の考え方や検討経過を踏まえ、広域処理について協議を続けてきています。覚書の中では、鎌倉市と逗子市は生ごみを資源化処理するための施設と燃やすごみを焼却するための施設の整備計画を早期に策定し、循環型社会形成推進地域計画を策定するために協議することとしています。



昨年十一月十二日に鎌倉・逗子両市長が会談した際、逗子市長から、広域処理を行う判断を平成十九年度末まで待つてほしいと言われたことについては、十一月二十二日に開催した議会全員協議会で、報告を受けたところですが、

全員協議会

生ごみの資源化について

報告の概要(三月十八日) 三月四日の新聞報道で、逗子市職員による検討チームが広域処理についての試算を行い、鎌倉市に建設する生ごみ資源化施設で広域処理をする場合、逗子市単独処理と同程度の費用がかかることとあった。逗子市に、積算内訳等を示してほしいと要請したところ、三月十一日に逗子市副市長が逗子市の検討チームの検討結果報告書を持参し本市を訪れ、報告書の内容について、議会や市民の意見を聞いた上で、逗子市長が広域処理についての最終判断をしたいとの話があった。

しかし、その後の新聞報道では、逗子市長が、逗子市議会全員協議会で広域での生ごみ資源化計画に参加しない考えを明らかにし、覚書については解消するとしたとあり、まちづくりトークにおいて、不参加に至った経緯や理由などを報告したとあった。これら報道の内容は、本市には事前に何の相談もないことで大変驚いているが、両市の広域化検討協議会を早急に開催し、逗子市長から正式に結論を伝えてほしい旨を申し入れた。

報告の概要(三月三十一日) 三月二十七日にごみ処理広域化検討協議会が開催され、逗子市から、生ごみ資源化整備計画には参加しないが、焼却施設の整備については今後も協議を行うとともに、覚書については見直したい旨の提案があった。本市としては、四市一町によるごみ処理広域化の検討経過を踏まえ、逗子市の提案を即了承するわけにはいかない旨の回答をした。

今後協議は継続していくが、平成二十年早い時期に、焼却施設の建設場所や建設時期などの具体的方向性が逗子市から示されなければ、両市のごみ処理広域化を解消することも含め、ごみ処理施設整備の方向性に関する決断をしなければならぬと考えている。

また、生ごみ資源化施設建設用地が、宅地開発ができる土地であったかどうか調査した結果、事業者から提出された計画では、開発許可を得ることは困難な状況であり、十九年度中の買収はできないと判断したが、購入については、引き続き土地所有者と交渉を行いたい。議会では、これらの報告を了承しました。

二百二十一・九六平方メートル、取得価格は十二億四千九百七十二万七千二百二十八円です。

議会では、今回の取得で国鉄清算事業団用地の取得状況が百パーセントとなることから、本件を妥当とし、総員の賛成で原案を可決しました。

また、深沢地域国鉄跡地周辺総合整備事業用地については、鎌倉市梶原字八町三三五八番三ほか三筆の土地を取得しようとするもので、地目は宅地、面積は二万

地方自治という話題でよく取り上げられるのが「議会と市民との距離感」です。市民の皆様からいただく「議会のこと」がよくわからないという言葉を代表される「開かれた議会」への期待感です。この距離感を縮める手法として、情報の即時性の改革に取り組み、昨年から開始したインターネット議会中継で実現しました。また、議会改革として、公聴・広報活動を市民との直接対話という形で実現できないかとの論議が生まれています。